

1. 本園の教育目標

- 心身ともに健やかに物事をよく見、よく考え、なかまとなかよく、遊びや仕事に取り組める子に育てる。
- 健康で明るい子
 - よく考え、よく工夫する子
 - ひとりだちのできる子
 - 他人を思いやり、命を大切にできる子
 - 協力して、誰とも楽しく遊べる子
 - あいさつが明るくてできる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 「キラキラ モリモリ ニコニコ」
 健やかな体と豊かな心を育む ～ 子どもの育ちを捉えた保育の工夫について ～
- 保育指導計画の見直しと保育の充実を図る
園内研修を行い指導法の研究をするとともに、職員間の話し合いを常にもち、共通理解をする。
 - 一人一人の発達段階や成長の過程を大切に、家庭との連携を図る。
 - 心身ともに健康な生活と様々な人との関わり
自然豊かな環境を活かした遊びを行い、意図的に体を動かすことができるような取組を行う。
地域や小学生との交流を積極的に計画し、互恵性のある活動としていく。
 - 研修会(オンライン)や研究会に進んで参加し、自己研修に努める。
 - 感染症対策を実施し、園児の健康・安全な生活習慣を身に付ける。

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1) 子ども理解と保育の充実	B	園内研修や専門機関の先生から学び、職員間で多角的に子どもを見ながら意見交流を重ね、共通理解を図るなどして、こども理解を深めてきた。また、環境の再構成を図り保育の充実につなげてきた。
(2) 安全管理と防災教育	B	毎月、安全点検と避難訓練を計画的に実施し、職員間の共通理解をはかるとともに、園児や保護者への啓発にもつなげてきた。今後起こりうる災害に向けての危機管理意識をもっと向上させていきたい。
(3) 保護者・地域との連携	B	一人一人の保護者との関わりを大切に、幼児の育ちや姿を伝えながら、連携を図るように努めた。小学生や地域の方との交流を積極的に計画し、ねらいをもった互恵性のある交流を今後も進めていきたい。また、地域の方には行事等での見守りや、園内外の整備・情報発信などに協力いただいた。
(4) 感染症対策に配慮し健康で安心な保育	B	様々な感染対策を心掛けながら、園児と職員・保護者の健康と安心安全な保育を心掛けてきた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- 少人数の良さを生かしたきめ細やかな保育を行うとともに、園内外の異年齢交流を積極的に計画し、様々な人との関わりを広げる機会をもった。たくさんの人との関わりを楽しんだり、関わり方を考えたりすることができ、その経験が、自信につながったり喜びにつながったりしていることを感じた。
- 園内外の研修で学んだことを、保育の中で活かしたり子どもの育ちにつなげたりすることができるように職員間で共通理解をし、園全体の職員で子どもを育てるという意識で取り組んだ。職員間の意識改革をし、一人一人に寄り添うことを改めて考え直したり、保育計画の見直しを行ったりしていくことが課題である。
- 感染症対策を徹底し、コロナ禍で学んだことを活かしながら、子どもたちの健康で安全な生活ができるように配慮してきた。
- 災害への危機管理意識をさらに高め、子どもたちの安全につなげていく。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
保育の充実と教員の資質向上	園内外の研修への積極的な参加と、個々の教材研究の充実を図る。保育計画の見直しと環境の再構成を図る。
保護者・地域との連携	小学生・こども園・地域の方との交流を積極的に行う。子育て支援と保護者との関わりを大切にする。
心身の健康と安全管理	自己発揮できる活動の推進。安全点検・避難訓練の実施と、専門機関との連携を図り、安全な生活を構築する。

6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

- 自然に囲まれた素晴らしい環境の中、園児一人一人の心情を職員全体で共通理解し、伸びる力の援助に取り組んでいる。
- 地域の方や隣接する小学校との連携も、園側の適切なアピールにより、小学校や地域の方の協力のもと園運営ができています。
- 園児の充実した生活と個々の営みとなっている。
- 今後も子どもたちの将来を見据えた関屋幼稚園独自の保育を続けてほしい。